



谷原小だより 11月号

平成 23 年 11 月 1 日
練馬区立谷原小学校
校長 眞瀬 敦子

あったかいね！

校長 眞瀬 敦子

日中は見事な秋晴れでも、朝晩はめっきり寒くなってきましたが、最近の谷原小は、学校中にほのぼのとしたあたたかさが漂っています。

昨年からはじめた兄弟学年の取り組みがすっかり軌道に乗り、上級生と下級生とが仲良く一緒にいる姿があちこちで見られるようになりました。“温かさ”を醸し出しているのは、その子供達なのです。

2年生と4年生が楽しそうに手をつないで走り回っているかと思えば、3年生の「姿を変える食品」の発表を5年生が真剣に聞いて、一人一人に温かな感想を伝えています。1年生は6年生に国語で勉強した「働く自動車」のクイズを出すのだと、張り切っています。先生方からも「上級生有り難う！」と言われて、4, 5, 6年生はくすぐったそうな顔をしています、まんざらでもなさそうです。

先日は初めての試み、“仲良しお弁当給食”がありました。

栄養士さんと給食主事さんとが万全の注意と心を込めて作ってくれた唐揚げ弁当を持って、暑いぐらいの好天の中、1, 6年生は体育館、2, 4年生は屋上、3, 5年生は校庭で、一緒にお弁当を食べて楽しく遊びました。遊んでもらっている下級生の生き生きした顔！それを見つめている上級生の顔の何と優しいこと！「みんないい顔していますねえ。」と、私たち教職員も嬉しくなりました。

28日の学校評議員会では、「広場に来る子供達が、とても落ち着いていて、仲が良くなった。」「ドラムサークルのとき、下級生が後から来たら、上級生が『ここにおいで』と呼んで、自分のステックを渡していた。実に自然で気持ちの良い光景だった。」といった感想が評議員の皆さんから聞かれました。子供達の中に着実に温かい心、互いを大切に思う心が育っているようです。ご家庭では如何でしょうか。

明日はいよいよ仲良し全校遠足。天気も良さそうです。



何して遊ぼうか？



お弁当おいしいね！



だるまさんがころんだ！



楽しかったね！

〈放射能に対する安全確保について〉

原子力発電所の事故から8ヶ月がたとうとしています。依然その安全性が心配される場所ですが、本校の給食は、区の指定を受けた業者から、安全性の確認されているものだけを購入して作っています。

この度お米が新米に切り替わりましたが、それも区の指定に基づいた検査のなされている、青森産の“まっしぐら”を使用しています。

また、新しく作った校舎西側裏の通学路について、土地が低いこと、桜並木からの落ち葉が多いことを心配なさる声が聞かれますが、雨が降ったときの水たまりに子供達が足を入れないよう、ブロックを積み、その上にカーペットを掛けて、通路を確保しています。落ち葉については、溜まらないよう、主事さんとシルバーさんが、毎日掃き掃除をしてくれています。集めた落ち葉は区の指導に基づき、燃えるゴミとして処理しています。

区でも順次残土の検査をしており、結果がまとまり次第、公表してくれる予定です。